

令和4年度 東浦町地域公共交通会議 事業報告

1 東浦町地域公共交通会議の開催

■東浦町地域公共交通会議の開催日・協議内容等

以下のとおり開催した。東浦町地域公共交通計画の評価、新規事業である回数券の共通利用事業やお試し乗車券の配付等の利用促進事業に関する協議・報告が主であった。

	日付	場所	協議内容等
第1回	5月27日(金)	役場	1. 「う・ら・ら」利用者数等の推移(報告) 2. 「う・ら・ら」令和3年度事業報告及び決算報告(報告) 3. 第三者評価の結果(報告) 4. 「う・ら・ら」回数券の民間バス・タクシーでの共通利用(協議) (その他)令和4年度東浦町地域公共交通会議事業計画 (その他)路線バスのりつぎ旅
第2回	7月21日(木)	勤労福祉会館	1. 公共交通の利用状況(報告) 2. 「う・ら・ら」回数券の民間バス・タクシーでの共通利用(報告) 3. 「う・ら・ら」お試し乗車券の配付(協議) (その他)路線バスのりつぎ旅 第2弾
第3回	資料発送日 10月25日(火) 回答締切日 11月9日(水)	書面開催	1. 「う・ら・ら」回数券の共通利用事業への新規加入(協議)
第4回	資料発送日 1月4日(水) 回答締切日 1月18日(水)	書面開催	1. 東浦町地域公共交通計画の評価(協議)
第5回	1月27日(金)	役場	1. 東浦町地域公共交通計画の評価(報告) 2. 「う・ら・ら」回数券の民間バス・タクシーでの共通利用(報告) 3. 「う・ら・ら」お試し乗車券の配付・利用実績(報告) 4. 「う・ら・ら」バス停の移設(協議) (その他)公共交通パンフレット
第6回	3月17日(金)	文化センター	1. 「う・ら・ら」利用者数の推移(報告) 2. 「う・ら・ら」回数券の民間バス・タクシーでの共通利用(報告) 3. 「う・ら・ら」バス停の移設(報告) 4. 令和5年度東浦町地域公共交通会議予算(案)及び令和5年度東浦町地域公共交通会議事業計画(案)(協議) (その他)公共交通パンフレット

2 回数券の共通利用

■回数券の共通利用

令和4年10月から開始した事業で、民間バス・タクシーの精算時に、「う・ら・ら」の回数券1枚につき料金から100円控除するものである。なお、利用できる回数券の枚数は、控除額が料金を上回らない範囲(タクシーは上限20枚まで)であり、料金から控除額を差し引いた残額は、現金や電子マネーなど事業者が受け取り可能な方法で支払う。

(補足) 回数券について

1セット(11回分の乗車券)を1,000円で役場、車内、各コミュニティセンター、ふれあいセンター、行政サービスコーナー(イオンモール東浦内)で販売しているほか、運転免許自主返納支援事業やいきいきマイレージの支援内容に含まれている。なお、通常、「う・ら・ら」の運賃は1乗車100円。

そのため、**1,000円で購入した回数券が、1,100円分の金券として民間バス・タクシーでも利用可能**になる。



図1 回数券

■対象路線

	路線名	主なバス停
1	知多バス「大府線」	森岡自然公園前、森岡台、半ノ木、大府駅前
2	知多バス「東ヶ丘団地線」	高根中央公園前、東仙台、高根台東、高根台、東ヶ丘、丸池台、丸池台西、巽ヶ丘駅前

■対象事業者(五十音順)

	事業者名	主な待機場・乗り場
1	安全タクシー(株)	東浦駅、半田病院、西知多総合病院、朝倉駅
2	刈谷交通(株)	刈谷駅(北口・南口)、東刈谷駅、刈谷市駅、刈谷病院
3	鯨第一交通(株)	西知多総合病院、太田川駅、朝倉駅
4	大興タクシー(株)	緒川駅、イオンモール東浦、長寿医療研究センター、刈谷豊田総合病院、刈谷駅(北口・南口)、大府駅(東口・西口)
5	(株)知多つばめタクシー	巽ヶ丘駅
6	名鉄知多タクシー(株)	緒川駅、石浜駅、イオンモール東浦、大府駅(東口・西口)



図2 協定締結式



図3 周知用ポスターの掲示

■回数券（共通利用事業）の利用実績

令和4年10月1日から令和5年3月31日の期間における、事業者・対象路線ごとの回数券の利用実績は下表のとおりである。結果から以下のことが考えられる。

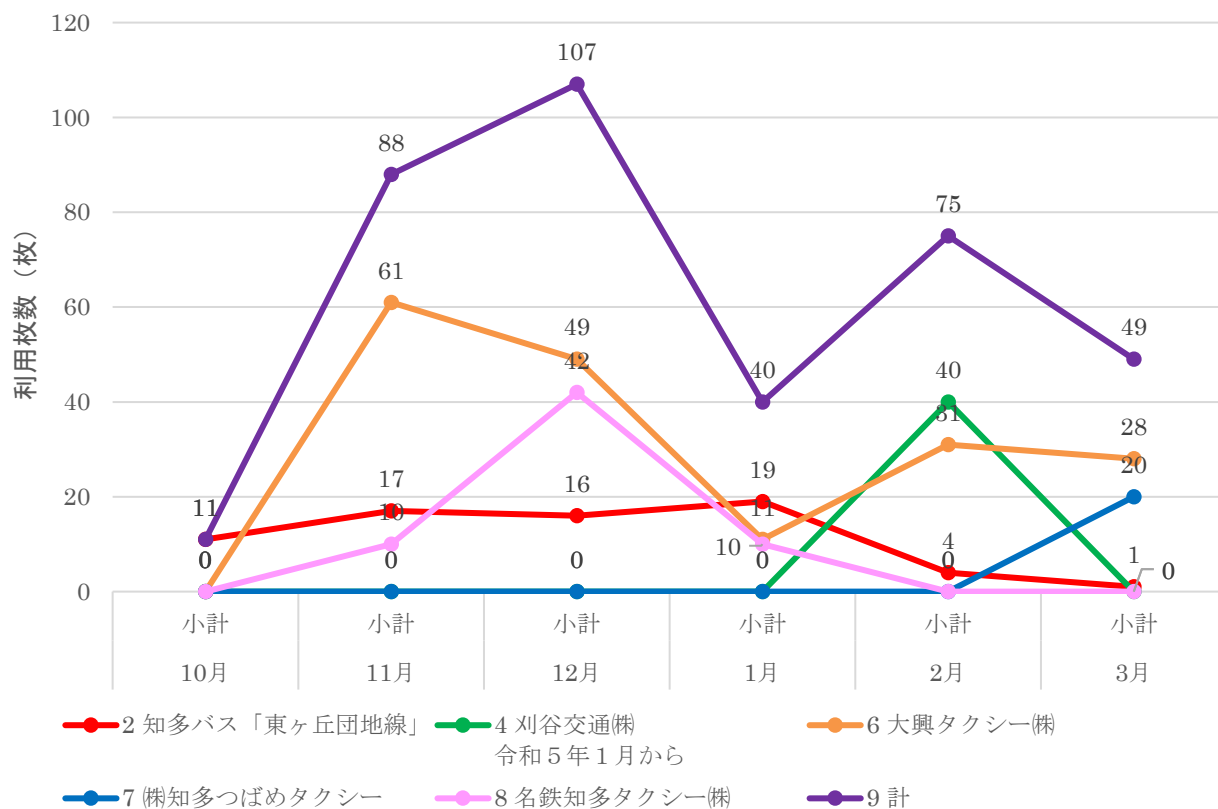
- ① 知多バス両路線では、「東ヶ丘団地線」でのみ68枚の利用がある。「大府線」の利用枚数の差は、**各路線の町内バス停の利用者数の差から生じたもの**と考えられる。
- ② 安全タクシー(株)と鯨第一交通(株)以外の事業者では、この半年で20枚～180枚の利用実績が出ている。各タクシー事業者の利用枚数の差は、**町内で運行しているタクシーの台数や、町内に存在するタクシー乗り場の有無**等から生じたものだと考えられる。
- ③ 共通利用事業に関しては、運用開始から6か月と短いため、まだ利用は多くないが、1月当たりの利用枚数は一定数あることや、**自主返納で配付した回数券も利用されていることから、バス停まで歩けない等バスを利用しづらい方が本事業を活用**した可能性も考えられる。つきましては、まずは**様々な方法を用いて周知活動をしていくことが必要**だと考えている。

		10月	10月	10月	10月	11月	11月	11月	11月	12月	12月	12月	12月	1月	1月	1月	1月	2月	2月	2月	2月	3月	3月	3月	3月	計	計	計	計
		マイ レージ	自主 返納	バス	小計	マイ レージ	自主 返納	バス	小計	マイ レージ	自主 返納	バス	小計	マイ レージ	自主 返納	バス	小計	マイ レージ	自主 返納	バス	小計	マイ レージ	自主 返納	バス	小計	マイ レージ	自主 返納	バス	小計
1	知多バス「大府線」	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	知多バス「東ヶ丘団地線」	0	0	11	11	1	0	16	17	0	0	16	16	2	0	17	19	2	0	2	4	0	0	1	1	5	0	63	68
3	安全タクシー(株)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	刈谷交通(株) 令和5年1月から	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	39	1	40	0	0	0	0	0	39	1	40
5	鯨第一交通(株)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	大興タクシー(株)	0	0	0	0	0	11	50	61	0	0	49	49	0	0	11	11	0	4	27	31	18	10	0	28	18	25	137	180
7	(株)知多つばめタクシー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	20	0	0	20	20
8	名鉄知多タクシー(株)	0	0	0	0	10	0	0	10	22	0	20	42	10	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	42	0	20	62
9	計	0	0	11	11	11	11	66	88	22	0	85	107	12	0	28	40	2	43	30	75	18	10	21	49	65	64	241	370

(凡例) 集計表の用語について

- 「マイレージ」…健康課で実施している「いきいきマイレージ事業」にて、ポイントと交換した回数券の利用枚数を指す。
- 「自主返納」…住民自治課で実施している「高齢者運転免許自主返納支援事業」にて、交付した回数券の利用枚数を指す。
- 「バス」…東浦町役場や各コミュニティセンター等にて、販売した回数券の利用枚数を指す。

図4 回数券の共通利用事業 回数券の利用推移 (R4.10-R5.3)



3 お試し乗車券の配付（路線バスのりつぎ旅・乗り方教室）

■お試し乗車券の配付

利用促進に関するイベントの参加者に、「う・ら・ら」のお試し乗車券(6回分の無料乗車券、利用期間はイベント開催日の翌日から1か月間)を配付した。

令和4年 12 月末現在、お試し乗車券を配付したイベントの開催回数は4回、配付枚数は 300 枚である。

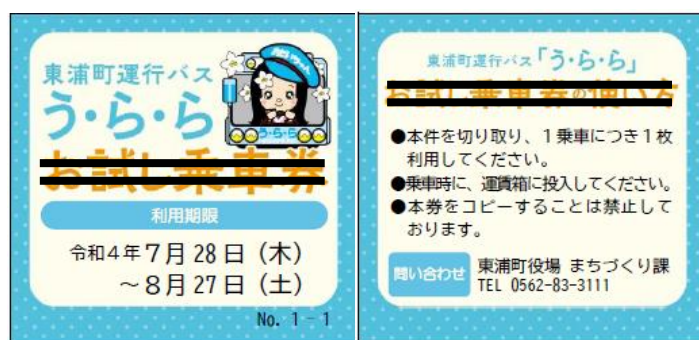


図5 お試し乗車券(表面・裏面)

■お試し乗車券を配付したイベント

お試し乗車券を配付したイベントは、以下のとおりである。なお、路線バスのりつぎ旅第1弾は太田市、第2弾は刈谷市、乗り方教室(藤江サロン)は東浦町社会福祉協議会と共催。

開催日	イベント名	参加者層	参加者数 (人)	概要
7月 27日	路線バス のりつぎ旅 第1弾	家族連れ ～高齢者	9	「う・ら・ら」と太田市循環バス「ふれあいバス」を乗り継いで、おおぶ文化交流の杜のバックヤード等を見学
9月 25日	路線バス のりつぎ旅 第2弾	家族連れ ～高齢者	14	「う・ら・ら」と刈谷市公共施設連絡バス「かりまる」を乗り継いで、刈谷市美術館の企画展を鑑賞
10月 5日	乗り方教室 (藤江サロン)	高齢者	19	地域版の時刻表を用いて路線図・時刻表の読み方を、実車を用いて乗り方を周知
11月 12日	乗り方教室 (産業まつり)	家族連れ ～高齢者	約 300	地域版の時刻表を用いて路線図・時刻表の読み方を、実車を用いて乗り方を周知



図6 当日の様子(のりつぎ旅 第2弾)



図7 当日の様子(乗り方教室(サロン))

■お試し乗車券の利用実績

配付イベントごとのお試し乗車券の「乗車券利用率」及び「利用者割合」等は下表のとおりである。結果から以下のことが考えられる。

- ① 「乗車券利用率」と「利用者割合」の両指標ともに最も高い数値となったのは、「乗り方教室（藤江サロン）」である。本イベントが最も高い数値となった要因には、参加者層が高齢者のみであったため、他のイベントの参加者より公共交通への関心がある方の割合が高かったことや、地域版の時刻表の読み方と「う・ら・ら」の乗り方を体験したことで、公共交通利用に対する心理的ハードルを下げる事ができたこと等が考えられる。
- ② 「路線バスのりつぎ旅」の第1弾と第2弾は、広報紙を通じておでかけプランの提案ができる利点以外にも、参加者から次回の開催を要望されるなど一定の評価はいただいているが、お試し乗車券の「利用者数」は少なく、次の利用には繋がっていない。次年度に開催する場合、集合地点で乗り方の説明や参加者にあった地域版の時刻表を配布するなど次の利用に繋がるような改善が必要である。
- ③ 「乗り方教室（産業まつり）」は、お試し乗車券を配付した参加者数が多いこともあり、「利用回数」と「利用者数」の両指標とも最も高い数値となった。「利用者割合」も 25%と参加者の4分の1が次の利用に繋がっている。また、産業まつりのブース出展であったため、参加者層も広く、町民の方に親しみを持っていただく機会としても効果的だと考えられる。
- ④ 「乗り方教室」については、利用促進の効果が高いため、継続して実施する価値があると考えられる。「路線バスのりつぎ旅」については、車両の定員等から参加者数の上限が小さいことや、利用促進に繋がりがづらい等の弱みもあるが、おでかけプランを広報紙で周知できる等の利点もあるため、地域版の時刻表も合わせて配付する等の改善策を講じながら継続を検討していきたい。

No.	配付イベント	利用 開始日	利用 終了日	利用 可能日数 (日)	① 配付枚数(枚)	② 利用可能回数 ①×6(回)	③利用 回数 (回)	③÷② 乗車券 利用率(%)	④利用 者数(人)	④÷① 利用者割合 (%)
1	路線バスのりつぎ旅 第1弾 (おおぶ文化交流の杜)	7月28日	8月27日	31	9	54	6	11%	1	11%
2	路線バスのりつぎ旅 第2弾 (刈谷市美術館)	9月26日	10月25日	30	14	84	11	13%	4	29%
3	乗り方教室 (藤江サロン)	10月6日	11月5日	31	19	114	42	37%	8	42%
4	乗り方教室 (産業まつり)	11月14日	12月13日	30	258	1,548	244	16%	65	25%

(補足)表内の用語について

- 「乗車券利用率」…配付したお試し乗車券の利用可能回数(もとにする量)に対して、実際に利用された回数(比べられる量)の割合を指す。
- 「利用者割合」…お試し乗車券を配付した人数(もとにする量)に対して、実際に利用した人数(比べられる量)の割合を指す。

4 公共交通パンフレットの発行

■公共交通パンフレットの発行

「う・ら・ら」をはじめとする公共交通の利用促進を目的に、バス・タクシーの乗り方や地域のおでかけスポット等を紹介する公共交通パンフレットを令和5年3月31日に発行した。

■発行部数 3万部

■配布時期 令和5年3月末（広報ひがしうら令和5年4月号に折り込み）

■配布場所 公共施設、「う・ら・ら」車内、パンフレット掲載施設等



図8 公共交通パンフレット

5 公共交通検索サービス

「う・ら・ら」の乗り継ぎ案内や電車への乗り換え案内を可能にする公共交通検索サービスを導入。オープンデータ化し、「Google マップ」等のサービスも更新。

■利用可能サービス

「NAVITIME (ナビタイム)」、「ジョルダン」、「駅すぱあと」、「Google マップ」

■導入年月 平成29年10月～

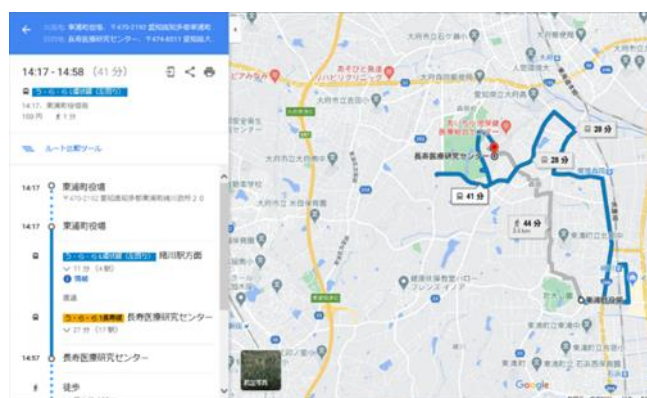


図9 Google マップ

6 「う・ら・ら」&エコモビ達人教室

緒川保育園、藤江保育園及び東ヶ丘幼稚園の年長園児を対象に、実際に運行している「う・ら・ら」の車両を用いて乗り方を学ぶ。

■日時・参加者数

	日時	参加者数
東ヶ丘幼稚園	2月 20 日(月) 12:50～13:50	57 名
緒川保育園	3月 10 日(金) 12:30～13:30	82 名
藤江保育園	3月 10 日(金) 9:30～10:30	56 名

7 有料広告

公費負担額縮減と地元企業等による公共交通を支える意識の拡大を図るため、「う・ら・ら」への有料広告を実施。

実施台数 6台

■実績

	広告収入	契約者数
令和4年度	474,000 円	6 者
令和3年度	564,000 円	6 者
令和2年度	948,000 円	6 者
令和元年度	884,000 円	9 者
平成30年度	786,000 円	9 者
平成29年度	968,839 円	10 者
平成28年度	834,000 円	9 者
平成27年度	657,065 円	7 者
平成26年度	596,934 円	9 者
平成25年度	663,000 円	8 者
平成24年度	749,000 円	4 者